

磐城時報

九夕
日刊
編集者 石城郡平町野田十四
印刷者 石城郡平町野田十四
発行所 石城郡平町野田十四
電話 一四四
一頁金五錢 一月金一元五角
廣告料 一行十文字 金五錢
A日刊(日曜、祭日) 休刊

愈々急を告げて来た 比佐組長彈の効鋒火

湯本町第二部で 四十五名が署名捺印

平警察署管内理髮業組合は組合果、長比佐信太郎氏の排斥運動で紛糾を續けてゐる事既報の如くであるが小名濱方部組合より成る第三部では此程方部會を開き比佐組長を糾弾する事を決議したが同席上に比佐組長が顔を出したので組合員は揃つて比佐氏に對し代議員問題、表彰者申請問題等について比佐氏の執つた態度の横暴越權なる事を詰問したので比佐組長は色を失ひ直ちに辭職すべき旨を言明して立ち去つた、尚ほ湯本町方面の第二部では七日總會を開き過般比佐組長に不満で役員總辭職時は專斷横暴極まりなき支部をしたため役員選挙を行った結果の指揮はうけざるものとす。

決議文
一、會計事務引繼問題
二、表彰問題
三、委員選出問題
右三項について第二部は臨時總會開催方を支部長に要求す、而して下敷となつたので救援隊が現場にかけつけ發掘した結果兩名とも蘇生したが附屬病院で手當中何れも死亡した、尚ほ荒井倉三藤田金作、佐藤中外數名何れも負傷した。

白熱的觀迎をうけつ、 中等野球大會迫る

十日午後本社樓上で 第一日目組合せ抽籤

本社主催第三回縣下中等學校野球大會は地方ファンから白熱的の歡迎をうけつゝ愈々二十日、二十一日の兩日に迫つた、参加する大體は磐城中等學校を始め平商戦を演ずるであらうと察せられ、業學校、双葉中學校、相馬中學校、

十年祝賀會

平町田町實川彌太郎氏は十日午後五時から旗亭大真に於て開業十周年紀念祝賀會を催はすと。

大落磐の椿事

死者一名負傷數名を出す

石城郡内郡村磐城炭礦高坂坑二地自宅出棺平町性源寺に於て佛坑六郎に八日前六時頃大落磐あり作業中の坑夫のうち内郡村大字宮居住松井勝十八は土砂に埋没され、神谷金作(三九)も下敷となつたので救援隊が現場にかけつけ發掘した結果兩名とも蘇生したが附屬病院で手當中何れも死亡した、尚ほ荒井倉三藤田金作、佐藤中外數名何れも負傷した。

外遊だより

第一信 ロンドンにて 高木武雄

次に驚いたことはロンドンであつて、吾々旅の者には買物に困ることです。吾々國に來る外人はよく日本の店に掛引するから不愉快だと云ひます。なる程値切るとか負けるとか云ふことのあるのは事實相違なく、ロンドンではそんなことをしなないのも事實です。併し同じことでもロンドンでも店毎に定額が違ひます。時計にしろ、服にしろ、靴や

賭博犯人と巡查 仲間町で大格闘

石城郡下三阪村前科三犯根本末之助(五八)は賭博の常習者であるが一昨年来三回に亘つて賭博開帳の現場に踏み込まれ、その都度逃走して逮捕を免れてゐたので平署で行衛捜索中であつたが九日前九時頃内縁の妻である平町仲間町大塚サク方に立ち寄つたのを警邏中の奥山巡查が発見し取り押えんとした處逃走企てたのを追跡し格闘の上逮捕した。

近盛の雇人 告訴さる

石城郡内郡村酒造業馬目太平治方雇人安藤龍之助(三六)は昭和四年二月東京府下瀧の川町で福島屋といふ酒屋を営業してゐるうち隣家の稻葉喜一郎から三百圓を借りたが百圓をかへしたのみで同年十月行衛不明となつたが、最近前記馬目方に居る事が判つたので平署に告訴された。

電柱に衝突

平町長各町會議員に對し問責状を發した、町では別してかゝる事實はないが目下のところ一千を運轉し江名町から小名濱町に向ふ途中運轉を誤つて電柱に衝突し車體を大破したが運轉手無事であつた、運轉手高岡三郎は

無免許許す

に五千圓の罰引正札を添えて賣つて居ることなどは正氣の沙汰ではありませぬ、ランプの多いことも一驚に値します。例へば時計ですが二百圓の上等物と分違はぬ外観したもので、百圓のもあれば五十圓のも三十圓のものも有ります。ウオルサムとかエルデンとか云ふ時計なら石が幾つ入つて居れば日本でもいくらか國の本場をいくらか私に見當付きますがロンドンでは主に賣つて居る英國の時計や瑞西の時計については私は全然豫備智識を持つて居ませんから、あんなに手を出さずには居られぬ、手が出せませぬのは私の様な旅の者に限つたことであらうと云ふ子だつて困ることだらうと

告白

川柳反古體
保翠氏長男出生祝吟
寺井尺一選
祝の座唄ひ納めて夜が明けける
一番目見込通りに男なり
角人
長い坂だんぐ海がひろくな
俄雨男の下駄でかへるなり
同 人
新枕電氣のひかる恥しき
同 人
産の番じつたたい程夜が長い
同 人
青二才とは思へども官吏なり
同 人
東天紅
媒人に聞けば遊んで喰へる音
同 人

白土會素議會

平町田町白土會素議會を中心とする白土會では九日午後九時から稽古場に於て會員素議會を催はすと

無免許であるため平署で嚴重取調中である。

六月の御用意

傘日とルソラバ

……トルバコ…黒…赤
 に袂い長る躍に風微
 柄と色の傘日たれ取の和調
 と傘なンダモはさる明の月五
 ……らか粧化おなトーマス

水香堂生資
 椿花、薇薔白

ヤルツ

十四百電 四平

縣下中等學校野球大會 第三回大會豫告

本社主催に係る第三回中等學校野球大會は
 来る六月二十日、二十一日兩日平町磐城中
 學校球場に於て舉行、参加校其他左の如く
 に候

一、日時 六月二十日(土)同二十一日(日)
 二日間

一、會場 磐城中學校球場
 一、参加校 (申込順)

双葉中學校 磐城中學校
 平商業學校 田村中學校
 安積中學校 相馬中學校

一、試合方法

トーナメント式による。二十日午前零時半選手入場
 式、同一時第一回戦開始、二十一日午前八時第二回
 戦開始、午後二時半決勝戦開始。
 (ゲームは第一回戦第二回戦七回、決勝戦九回)

一、選手宿舍 住吉屋本店
 一、試合球 オール、ジャパン、リーグボール

主催 磐城時報社

平看護婦會

會長 清野キヨ
 平町字南町 電話三〇七番
 看護婦派出の需めに應じます

大藏大臣 許免
 供存并朱
 誠意 堅實
 盡無城磐
 音肌 味趣 融金 易簡

鹽豚販賣
 田町三二三屋

二葉印刷所
 平町仲町・電話一九三番

辯護士開業御挨拶

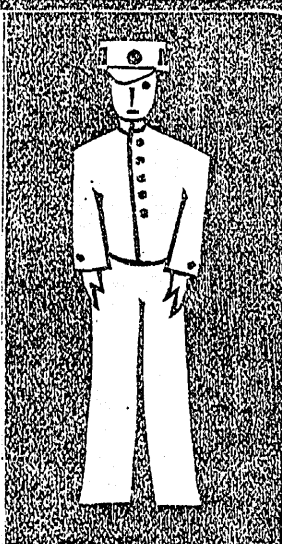
私儀平検事局検事任職中は公私共多大の御
 厚情を蒙り奉深謝候今回官職を辭し左記箇
 所に於て辯護士を開業し町噂且懇切に一般
 法律事務の御相談に應ずべく候間從前通り
 御引立に預り度く乍略儀以紙上奉懇願候
 昭和六年六月

平町字搔搔小路一番地(色川材木店東隣)
 辯護士 正五位 勳四等 武田清次郎
 (前平検事局検事)
 電話六三九番

度量衡計量器 吸入酸素器 吸入酸素器

關内藥局
 電話四〇番

夏の通學服



本店特製・霜降小倉
 通學服豊富に取揃へて
 御座います。

小學生用……¥.45
 同(特製品)……¥1.00
 中學生用……¥2.00

ふかや洋服店 平二 電203

中形新柄宣傳大特賣

すばらしい人氣!婦人俱樂部、歌集、音曲
 リング浴衣、外各種豊富

子供服地新柄入荷

可愛お子様方にふさわしい服地色々取揃へました。

三井呉服店
 平町 電話三八番
 二八四番

吉田眼科病院

平町紺屋町
 電話六八番

初夏のサロン

樽詰生ビールを召せ
 カップ一杯 十五錢
 そして酔つたあとに
 冷めたいアイスクリーム
 も御座います。 一皿 十五錢
 田町 サロ 電話三五二番

平町助役遠藤長誠儀病氣の 處本日午前四時死亡仕候 此段謹告候也

追而十日午後二時半自宅出棺同三時平町性源寺に於
 て告別式相替み可申候
 昭和六年六月八日

男 遠藤 誠一
 親戚總代 遠藤 誠一
 友入總代 伏見 彦衛
 遠藤 誠一
 藤 誠一
 藤 誠一
 藤 誠一